

令和4年度 鹿児島県総合防災訓練活動報告

南海トラフ巨大地震を想定した鹿児島県総合防災訓練が、令和4年11月5日（土）志布志市有明グラウンドで4年ぶりに実施された。訓練には、鹿児島県防災関連組織（警察・消防・自衛隊等）、自治体、電気・ガス・通信など101機関約4300人の参加があり、各活動内容の展示ブースが設けられた。

JARL 鹿児島県支部は、鹿児島県非常通信協議会、鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団、鹿児島県電波適正利用推進員協議会と合同で非常通信訓練に参加しました。



JARL 鹿児島県支部のブースでは、移動運用局 JA6YPB/6 を設置し非常通信訓練を行いました。

塩田鹿児島県知事をはじめ訓練参加団体の方々などたくさんの見学者の訪問があり、無線設備の説明や質疑応答など行いました。

今回は携帯電話が使える条件で、LINE 動画を用いた複数拠点の情報共有を試験的に実施。志布志市の訓練会場と鹿児島市の日赤アマチュア無線奉仕団無線室をはじめ各拠点と接続、Live 動画を交換できました。



非常通信訓練は、WIRES（UHF・VHF 帯とインターネットを用いた通信網）で日赤アマチュア無線奉仕団無線室をキー局に、志布志現地本部、霧島・始良・垂水・奄美の各奉仕団との通話確認、および訓練電文の交

換を行いました。

また HF 帯 (7.109MHz SSB) では全国に向けて訓練通信を行い、約 2 時間で 150 局ほど交信。志布志市は人気の JCC という条件も重なり、途切れなく呼ばれ続けました。

交信いただきました各局には、この場を借りてお礼を申し上げます。



趣味のアマチュア無線ではありますが、いざ災害等が発生したときには各局の力を合わせて社会貢献を行うことができます。日頃から防災訓練等に参加し、いざというときに役に立つよう皆さんと準備していければと思います。「自分も訓練に参加したい」とご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひ見学にいらっしゃってください。今後ともご協力をお願いいたします。

JARL 鹿児島県支部長 西 幸司 (JA6NHN)

※参考：鹿児島県ホームページ、南日本新聞ホームページ